

天井クレーンをご利用の皆様へ

コネクレーンズ株式会社
141-0022 東京都品川区東五反田 5-22-38
第2山崎ビル 3F
TEL:03-3440-5080 / FAX: 03-3440-5082
E-mail: parts.japan@konecranes.com

天井クレーンの定期メンテナンスにつきまして

昨今では安全意識の高まりから、予防保全への取組みが各社で積極的に行われています。しかし、**3 トン未満のクレーン設備においては定期保守をしていない利用者様が多いのが現状です。**クレーンに関しては、毎年多くの死傷者が発生しています。本案内をご覧頂き、ぜひこの機会に点検と予防保全を含めた定期メンテナンスをご検討頂きたいと存じます。

●定期メンテナンスが必要な理由

① 安全第一

クレーン等による死傷災害は、毎年 **1800 件**程度発生しています。定期の点検と予防保全を実施することで、保守不良による事故を減少させることができます。また、危険作業に習熟したクレーン専門のサービス担当者に依頼することで、自社で対応した場合に起こりうる望まない労働災害も防止できます。

2018 年 / 平成 30 年

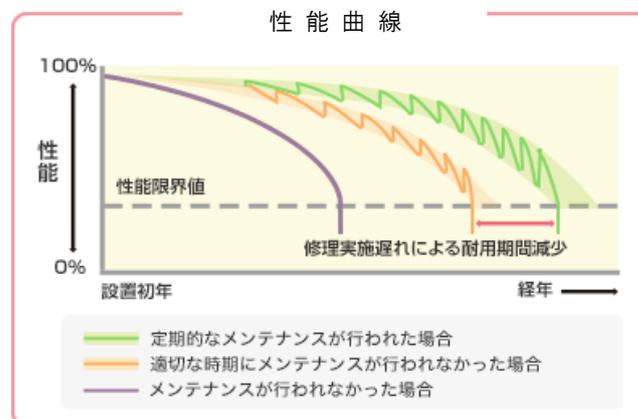
死傷者数 1,757 人

死亡者数 56 人

(クレーン等による災害)

② 製品寿命の長期化

定期的に点検と予防保全を実施することで、ほとんど何もメンテナンスが行われなかった場合に比べて、製品自体の利用可能年数を長期化させることができます。



③ 停止故障時間の減少

機械に故障は付きものですが、定期メンテナンスを実施していることで、緊急時の初動が早くなる、製品の特徴を理解している担当者が駆けつける、など早期に復旧する可能性が高まります。

④ 法的理由

上記理由に加え、クレーンの点検は労働安全衛生法、クレーン等安全規則により定期的に検査をすることが義務付けられています。何らかの労働災害が発生した場合には、民事、刑事、労働関係の法律によって規律され、特に点検を行っていなかった場合には、義務違反となる可能性もございます。

●メンテナンスチェック

以下の項目で気になることはありませんか？

- ・クレーンの点検はまったく実施していない
- ・クレーンが動かなくなって、復旧に時間を要したことがある
- ・操作性が悪いが、我慢して使っている
- ・クレーン設備担当者があいまいである
- ・使用前の自主検査のやり方が分からない
- ・昔から同じメンテナンス会社だが、本当に適切な点検と予防保全をしているか分からない
- ・ISO 取得時に、クレーン保守について審査官に何か言われたことがある

いかがでしょうか。気になる部分がある場合には、クレーンの利用とメンテナンスを考え直す機会かもしれません。

●更なるご提案

定期メンテナンス以外にも、当初想定された使用環境の変化や、クレーン自体の劣化についての提案、また、自社開発の診断装置を利用したクレーン検査のご提供も可能です。

- 例
- ・既存のメンテナンスが適切かどうかといった全体点検
 - ・インバーター化による操作性の向上
 - ・クレーン操作の無線化
 - ・走行レールのゆがみ診断、クレーン車輪の診断
 - ・ワイヤーロープの劣化診断
 - ・クレーンやホイストの更新
- など

この機会に、クレーン点検や、それに付随する安全対策・利用環境の向上をご一考頂きたいと存じます。ぜひコネクレーンズ株式会社へお気軽にお問合せ下さい。